

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	電気通信事業	会計	ケーブル	事業No.	49	施策順No.	92-007
		事業種別	政策・その他	予算科目	1-1-1-12-1		
政策	9 市民と共に進める行政経営			課等名	秘書課		
施策	92 情報共有の促進			事業期間	開始	17	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	①竜東地区(下久堅、上久堅、龍江、千代)の市民 ②遠山郷地区(上村、南信濃地区)の市民							A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	意図	ケーブルインターネット環境の提供							
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	
		竜東地区の対象世帯数(戸)	2966	2966	2966	2966	2966		
		遠山郷地区の対象世帯数(戸)	1181	1181	1181	1181	1181		
		竜東地区のケーブルインターネット加入率(%) ネット加入数(550)/ケーブルテレビ加入数(1468)	32.2	36.9	37.5	39	37.4	40	B
		遠山郷ケーブルインターネット加入率(%) ネット加入数(106)/ケーブルテレビ加入数(1154)	-	7.3	9.2	9	11.7	10	
22年度の目標達成度に対する振り返り 【政策的事業のみ評価】	竜東・遠山郷共にケーブルインターネット加入者は確実に増えている 竜東はケーブルテレビの加入促進事業により、ケーブルテレビのみの加入者が大幅に増えたため、ケーブルインターネット加入率は減となった								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	①竜東地区及び遠山郷地区の市民がブロードバンドサービスが受けられるように、伝送路の維持管理をする。 ②竜東地区及び遠山郷地区のケーブルインターネットは、電気通信事業法に基づき、Janisインターネットサービスを提供している㈱飯田ケーブルテレビ及び㈱長野共同電算と契約を結び、竜東ケーブル加入者及び遠山郷ケーブルテレビ加入者にサービスを提供する。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	ケーブルインターネットサービス提供のための施設の維持管理 1 施設の利用状況 (1)竜東ケーブルテレビ (2)遠山郷ケーブルテレビ 2 施設運営管理業務委託 センターモデムの保守管理業務 3 伝送路設備の移設工事及び設備の維持管理	1 加入率 (1)竜東ケーブルテレビ (2)遠山郷ケーブルテレビ 2 業務契約数 3 工事か所	1 (1)37.4% (2)11.7% 2 2業務 3 1か所
23年度実施計画	ケーブルインターネットサービス提供のための施設の維持管理 1 施設の利用状況 (1)竜東ケーブルテレビ (2)遠山郷ケーブルテレビ 2 施設運営管理業務委託 センターモデムの保守管理業務 3 伝送路設備の移設工事及び設備の維持管理	1 加入率 (1)竜東ケーブルテレビ (2)遠山郷ケーブルテレビ 2 業務契約数 3 工事か所	1 (1)40% (2)10% 2 2業務 3 3か所

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金				特定財源内訳、補足事項 (そ) 使用料 1,031千円
		県支出金				
		起債				
		その他	1,117	1,031	1,134	
		一般財源	56	57	56	
	計(A)	1,173	1,088	1,190		
	正規職員所要時間		40			
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)		143			
	トータルコスト A+B		1,231			

4 事業に対する市民や議会の意見

①ケーブルインターネットが地域でどのように活用できるのかという声がある

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市役所・市民が情報を共有する	施策の成果指標又はムトス指標	市民が知りたい行政の情報が十分に入手できると感じている市民の割合(%)
				0.628
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	ケーブルインターネットの環境整備により情報共有が図れた		
	後期に向けた課題	より多くの市民と情報共の共有ができるよう加入促進の実施		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	株式会社飯田ケーブルテレビ、各地区まちづくり委員会との連携		
	後期に向けた課題	株式会社飯田ケーブルテレビ、各地区まちづくり委員会との連携の強化		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	サービスを提供していくための必要最小限の事業費		
	後期に向けた課題	老朽化等による設備更新にかかる費用の発生		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	電気通信事業法に基づいた事業で、受益者負担は適正であった		
	後期に向けた課題	特になし		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	①主体は行政で ②市が運営するケーブルテレビ網を使って、株式会社飯田ケーブルテレビがサービスを提供。また、株式会社飯田ケーブルテレビと連携し説明会を実施		
	後期に向けた課題	株式会社飯田ケーブルテレビ、各地区まちづくり委員会の協力が不可欠		
全体を通じて	4年間の振り返り	株式会社飯田ケーブルテレビ、各地区まちづくり委員会と連携した取り組みにより、確実に加入者が増えている		
	後期に向けた課題	より多くの市民と情報共の共有ができるよう、株式会社飯田ケーブルテレビ、各地区まちづくり委員会と連携しながら加入促進のに努める		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------